

ありがとう。

そしてさよなら・・・

### 産山北部小学校



校旗を返納する井 詩織さん

### 山鹿小学校



お別れの言葉を述べる片山紗雪さん

輝かしい伝統と栄えある歴史を築いてきた2校。これまで学校、保護者、地域が一体となって多くの人材、功績を生み出し、地域交流の拠点としても大きな役割を担ってききましたが、少子化による児童の減少等をうけ4月から産山小学校に統合することになりました。思いで多い校舎で、両校では閉校式が行われ、これまで歩んできた一三二三年の歴史に幕を閉じました。

3月4日(日) 児童や現・旧教職員、村、教育関係者や校区民約二五〇名の参加の中、産山北部小学校の閉校式が行われました。来賓と全児童18人の手で記念碑の除幕が行われ、建立神事後、記念撮影が行われました。閉校式では全児童によるこれまでの思い出や将来の夢をスライドで上映しながら「思い出の詰まった北部小学校がなくなることは寂しいけれど、僕達はこの学校で過ごしたことを忘れません。」とお別れの言葉を述べました。最後に北部小母親

部会による演奏で最後の校歌を合唱。参加者による閉校を惜しむ歌声が体育館に響き渡っていました。午後から行われた小学校をしのぶ会では、実行委員長の挨拶や経過報告の後、アトラクションが行われ、北部小をしのぶスライド上映や吹奏楽の演奏、保護者による合唱などこれまでの思い出が参加者の心に響き、涙を誘うシーンもありました。最後に旧校歌を全員で合唱し、名残を惜しみながらも閉校式の幕を閉じました。

山鹿小学校閉校式典は2月25日(日) 10時から行われました。式には全児童と現・旧教職員、村や教育委員、関係者、校区民など約二五〇名が出席し、記念碑の除幕式や建立神事等が行われました。閉校式では校印が返納された後、佐藤増夫校長が「産山小学校へ行っても山鹿小学校で培った、気つき・やさしさ・チャレンジ」の心を忘れず、いろんな事に進んで取り組んでください。」と語り、児童を代表して片山紗雪さん

が「大好きな山鹿小学校。私達は山鹿小学校を忘れません」とお別れの言葉を述べました。午後からの記念式典では、経過報告やアトラクションが行われ、中でも読み聞かせグループお話ポツケによる山鹿小之助おじいちゃんが語る「山鹿小物語」やスライドを使った全校児童による発表では、これまで歩んできた長い歴史や思い出を振り返り、参加者の胸を熱くさせました。

### 閉校式典フナツプ



校印返納



記念碑除幕



記念碑除幕



### 産山北部小学校



### 山鹿小学校



参加者全員で校歌を歌いました



スライドショーによる児童の発表



校印、校旗を返納します



最後の挨拶が響きます